**2023年度 企業財団のメセナ活動実態調査票**

|  |
| --- |
| 本調査でいう**「メセナ」**とは、企業による芸術文化支援、および芸術文化の振興を通じて地域活性・教育・福祉・国際交流など幅広い社会創造を目指す活動です。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 【メセナの具体例】 | 1. **芸術文化の振興：**公演や展覧会等の開催／施設等の運営／顕彰やコンクール／次世代人材育成／ワークショップ等／資金支援（**芸術文化の振興に資する活動への協賛・寄付**）／人的・物的支援／ノウハウや場の提供 2. **その他：**まちづくり・地域の伝統的祭事・被災地支援等で**芸術文化の要素を含む**プログラム |
| 【対象外の活動】 | 芸術文化の要素を含まない活動 |
| 【対象期間】 | **2022年度**（貴財団の事業年度にあわせてご回答ください） |

|  |  |
| --- | --- |
| (フリガナ)  貴財団名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　英文名称 | |
| 氏名　　　　　　　　　（フリガナ）  役職 | E-mail |
| 氏名　　　　　　　　　（フリガナ）  役職 | E-mail |
| ＴＥＬ:　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ＦＡＸ: | |

※ご回答いただいた財団名は調査結果公表時に一覧でご紹介させていただく場合がありますが、個別の回答内容について財団名が特定されるような集計

結果は公表いたしません。自由記述回答は、財団名をふせて統計の補完情報とさせていただく場合がありますのでご了承願います。

※上記にご記入いただいた個人情報は、本件に関する問い合わせ、結果報告、および当協議会からのご案内のみに使用させていただきます。当協議会事務局にて厳重に管理し、第三者に開示・提供することはありません。

**A)　貴財団についてお答えください。**

**【1】概要**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 主たる出捐者/出資者 |  | | |
| 所在地 | 〒 | | |
| 所在地（ビル） |  | | |
| 設立年月日 | 年　　　月　　 日(西暦) | ▼支出総額は直近の年度の金額をお答えください。 | |
| 代表者氏名 |  | 支出総額 | 万円(　　　年　　月現在) |
| 代表者役職 |  | 芸術文化関連の支出総額 | 万円(　　　年　　月現在) |
| ※人件費等の間接経費も含め、おおよその額をお教えください。 |
| スタッフ数 | 名（常駐）／企業からの出向職員　　　　名／専門職員　　　　名  プログラム専任のスタッフが　いる いない | | |
| URL |  | | |

**【2】財団の活動理念（設立趣旨）**

|  |
| --- |
|  |

**【3】文化に関する事業目的・重視点（○はいくつでも）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 1. | 芸術文化全般の振興 | 7. | 同時代芸術文化の振興 |
| 2. | 若手や評価の定まっていない芸術家への支援 | 8. | 日本の伝統芸能の振興 |
| 3. | 既に定評のある芸術家への支援 | 9. | 文化財等の発掘・保存・修復 |
| 4. | アマチュアへの支援 | 10. | 地域文化の振興 |
| 5. | 鑑賞者への支援 | 11. | 国際文化交流 |
| 6. | 青少年への芸術文化教育 | 12. | 芸術文化の調査・研究 |
|  |  | 13. | その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

**【4】貴財団の2022年度の収入構造について、以下の項目ごとに比率をお答えください。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 1. | 基本財産・特定資産の運用収入 | ・・・・・・・ | （　　　　　）％ |
| 2. | 事業収入 | ・・・・・・・ | （　　　　　）％ |
| 3. | 母体企業（出捐者・設立者）およびグループ企業からの支援金 | ・・・・・・・ | （　　　　　）％ |
| 4. | 母体（グループ）企業以外の企業、他の助成財団等からの支援金・助成金 | ・・・・・・・ | （　　　　　）％ |
| 5. | 個人（出捐者・設立者以外）からの寄付金 | ・・・・・・・ | （　　　　　）％ |
| 6. | その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | ・・・・・・・ | （　　　　　）％ |
|  |  | 合計 | （　　　　　）％ |

＜取り組みの成果・評価方法＞

**【5】取り組み後、メセナ活動の事後評価を行っていますか。**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 1. | 行っている  ⇒質問5-SQ1～4へ | 2. | 特に行っていないが、検討中  ⇒質問5-SQ4へ | 3. | 特に行っておらず、行う予定はない  ⇒質問5-SQ4へ |

**【5-SQ1】メセナ活動の事後評価の観点について、当てはまるものをお選びください（〇はいくつでも）。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 1. | 設定された目標に対してプログラムが有効と思われるか（妥当性） | 4. | 設定された目標をどのくらい実現できたか（達成度） |
| 2. | 目標を達成するために必要最小限のコストか  （経済性） | 5. | プログラム実施によって、社会に対する効果・影響があったか（社会的意義） |
| 3. | 投入された運営資源に対する最大の成果が出ているか（効率性） | 6. | その他 |

**【5-SQ2】メセナ活動の事後評価の手法について、当てはまるものをお選びください（〇はいくつでも）。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 1. | 参加者アンケートによる反響、感想など | 6. | 参加者一人当たりのコスト |
| 2. | 参加者数 | 7. | 受益者への継続した追跡調査を実施 |
| 3. | 担当者による振り返りや、エピソード評価 | 8. | その他 |
| 4. | パブリシティ等メディア掲載 |  |  |
| 5. | 第三者による評価　（**✔**はいくつでも）  1.職員　2.役員 3.コンサルティング会社等の調査機関　4.該当分野における有識者　5.その他 | | |

**【5-SQ3】事後評価をどのように活用していますか（〇はいくつでも）。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 1. | 次年度のプログラム策定に生かす | 4. | CSRレポートへの掲載等で財団外へ広報している |
| 2. | 業務の効率化を図り、費用対効果を高めるための目安としている | 5. | 活用していない |
| 3. | 財団の内外の理解を得るために役立てている | 6. | その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

**【5-SQ4】****メセナを実施したことによる成果をお教えください（○はいくつでも）。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 1. | 実施地域において芸術文化への理解や振興が進んだ | 5. | 宣伝効果があった |
| 2. | 支援したアーティスト等対象者のステップアップの一助となった | 6. | 顧客開拓やサービス向上につながった |
| 7. | 財団の技術を活用し、本業へのフィードバックがあった |
| 3. | 芸術文化を通じて、地域や社会にプラスの変化が起きた | 8. | 職員の啓発につながった |
| 9. | 職員理解が深まり、一体感の醸成につながった |
| 4. | 地域での財団のブランドが向上した | 10. | その他 |

**成果の具体的な内容について、ご記入ください。**

|  |
| --- |
|  |

**B)　貴財団の2022年度の実績についてお答えください。**

**【6】下記の手引きを参照の上、P.4の各欄にお答えください。**

**※活動が8件を超える場合には、P.4の回答票をコピーし、ご記入ください。**

メセナ活動実績　ご回答の手引き

|  |  |
| --- | --- |
| ①活動名 | |
|  | 事業名を開催件数等とともに答えください。  ※助成金を提供した個々の事業名や自主事業として行っている個々の企画名称のご入力は不要です。  **例：「展覧会開催(年3回)」「○○コンサートシリーズの開催(年2ヶ所)」「被災地域における伝統芸能への助成事業」等**  ※文化施設の管理・運営と、その施設内での催しについては記入欄を分けてご回答願います。 |
| ②事業分類 | |
|  | 各プログラムについて「助成」「奨学」「顕彰」「自主事業」「文化施設」のいずれか1つを選択してください。  ※2つ当てはまる場合は、2件に分けてご記入ください。 |
| ③選考方法 | |
|  | ②で「助成」「奨学金」「顕彰」と回答したプログラムについてのみ選考方法を選んでください。  「自主事業」「文化施設」の場合は、ご記入の必要はありません。   |  |  |  | | --- | --- | --- | | □自主事業 |  | ④より対象となる  分野番号を  ご記入ください。  （複数回答可） | | □文化施設 | **無記入** | | □助成 | □外部の専門委員等 | | □奨学 | □財団内部 | | □顕彰 | □その他 | |
| ④対象となる芸術文化分野 | |
|  | ページ下部の選択肢より該当するものを選んでご記入ください。  ※芸術文化の要素を含まない活動（支援）は含みません。芸術文化以外の分野であっても「芸術文化活動」「伝統文化」等の要素も含むプログラムの場合は、該当する芸術・文化分野を選択してください。 |
| ⑤開始年度 | |
|  | 各プログラムの開始年度を西暦4桁でご記入ください。 |
| ⑥2022年度の総支給額／総事業費 | |
|  | 各プログラムの2022年度支給額、または事業費（単位：万円）をご記入ください。 |
| ＊対象者・参加者人数（お答えになれる場合のみ、ご回答ください。）  助成、奨学、顕彰事業の場合：対象者数、自主事業の場合：延べ参加者数、文化施設運営の場合：年間来場者数等、お分かりになる範囲でご回答ください。 | |

**【6】活動実績（※別紙「ご回答の手引き」参照のうえ、各欄にご記入ください。）**

**※活動が8件を超える場合には、本ページをコピーし、ご記入ください。**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **①プログラム名** | **②事業分類**（１つだけ） | **③選考方法**  （**助成・奨学金・顕彰の場合**のみご回答ください。） | **④対象芸術文化分野**　（ページ下のジャンル番号よりお選びください。） | **⑤開始年度** | **⑥2022年の総支給額/総事業費** | ＊任意  対象者・  参加者数 |
| 1 |  | 1.自主事業  2.文化施設  3,助成  4.奨学  5.顕彰 | 1.外部の専門委員等  2.財団内部  3.その他  （      ） |  | 年度から | 万円 | 人 |
| 2 |  | 1.自主事業  2.文化施設  3,助成  4.奨学  5.顕彰 | 1.外部の専門委員等  2.財団内部  3.その他  （      ） |  | 年度から | 万円 | 人 |
| 3 |  | 1.自主事業  2.文化施設  3,助成  4.奨学  5.顕彰 | 1.外部の専門委員等  2.財団内部  3.その他  （      ） |  | 年度から | 万円 | 人 |
| 4 |  | 1.自主事業  2.文化施設  3,助成  4.奨学  5.顕彰 | 1.外部の専門委員等  2.財団内部  3.その他  （      ） |  | 年度から | 万円 | 人 |
| 5 |  | 1.自主事業  2.文化施設  3,助成  4.奨学  5.顕彰 | 1.外部の専門委員等  2.財団内部  3.その他  （      ） |  | 年度から | 万円 | 人 |
| 6 |  | 1.自主事業  2.文化施設  3,助成  4.奨学  5.顕彰 | 1.外部の専門委員等  2.財団内部  3.その他  （      ） |  | 年度から | 万円 | 人 |
| 7 |  | 1.自主事業  2.文化施設  3,助成  4.奨学  5.顕彰 | 1.外部の専門委員等  2.財団内部  3.その他  （      ） |  | 年度から | 万円 | 人 |
| 8 |  | 1.自主事業  2.文化施設  3,助成  4.奨学  5.顕彰 | 1.外部の専門委員等  2.財団内部  3.その他  （      ） |  | 年度から | 万円 | 人 |

**※「④対象芸術文化分野」欄には、次の中から該当する分野の番号でご記入ください（複数回答可）。**

|  |  |
| --- | --- |
| 1. 美術　**⇒質問8(p.5)もご回答ください** | 11. 総合的舞台芸術 |
| 2. 工芸 | 12. 文学 |
| 3. 建築 | 13．文化遺跡 |
| 4. 映像 | 14．ファッション・デザイン |
| 5. マンガ・アニメ | 15．ものづくり・産業文化 |
| 6. 音楽　**⇒質問8(p.5)もご回答ください** | 16. 生活文化：茶道、華道、書道など |
| 7. 演劇 | 17. 食文化 |
| 8. 舞踊　**⇒質問8(p.5)もご回答ください** | 18. 伝統的娯楽 ：囲碁、将棋など |
| 9. 芸能：歌舞伎、能、講談、落語など | 19. 複合芸術　：２つ以上の分野にまたがる芸術祭など |
| 10. 祭り・郷土芸能 |  |

**【7】定期刊行物（機関紙や年次報告書などの具体的名称と発行頻度をご記入ください。）**

|  |
| --- |
| 例）機関誌『メセナnote』【年4回】、研究紀要【隔年】 |
|  |

**【8】p.4「④対象芸術文化分野」の欄で、1.美術、6.音楽、8.舞踊をお選びいただいた場合、該当する分野の詳細をお分かりになる範囲でお教えください（✔はいくつでも）。**

|  |  |
| --- | --- |
| 美術 | 1. 洋画　　2. 日本画　　3. 版画 　 4. 現代美術　5. 彫刻　6. 写真  7. 保存・修復　　8. アートマネージメント　 9. 評論・研究 |
| 音楽 | 1. クラシック音楽　2. 邦楽　3. ロック・ポップス　4. ジャズ　5. 現代音楽　6. 唱歌  7. 電子音楽　8. 民族音楽　9. オーケストラ　10. アートマネージメント　11. 評論・研究 |
| 舞踊 | 1. バレエ　2. 日本舞踊　3. 舞踏　　4. ジャズダンス・ヒップホップ　5.コンテンポラリー  6. フラメンコ　7. 児童舞踊　　8. アートマネージメント　9. 評論・研究 |

**C)　時事設問**

**【9】「障がい者による文化芸術活動の推進に関する法律」が平成30年に施行されました。障がい者の方が文化芸術について、鑑賞･参加･創造するためのメセナ活動を実施していますか（○はひとつ）。**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 1. | 施行前から実施している  ⇒質問9-SQへ | 2. | 施行されて以降、  実施している  ⇒質問9-SQへ | 3. | 実施していないが、  今後実施したい  ⇒質問9-SQへ | 4. | 実施していない、  検討予定もない  ⇒質問10へ |

**【9-SQ】具体的に実施している（したい）内容をご記入ください。また、実施にあたって、工夫していることや今後の課題をご記入ください。**

|  |
| --- |
|  |

**【10】****新型コロナウイルス感染症の位置付けが５類になりましたが、貴財団のメセナ活動について、感染拡大以降、 新たに始めたり変更したことのうち、今後も継続することはありますか。**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 1. | 継続することがある  ⇒質問10-SQへ | 2. | 新たに始めたり変更したことはあるが  継続することはない  ⇒質問10-SQへ | 3. | 新たに始めたり変更したことがない  ⇒質問10-SQへ |

**【10-SQ】メセナ活動について、コロナ禍を経て得られた“気づき”がありましたら、ご自由にご記入ください。**

|  |
| --- |
| 例）オンラインの導入、予算調整、社内体制の変更、ガイドライン等の方針変更など |

**【11】メセナ活動を行ううえで、現在苦労している点や今後の課題についてご自由にご記入ください。**

|  |
| --- |
|  |

**D)　当協議会へのご要望、メセナ活動や社会貢献活動全般に関するご意見、「メセナ活動実態調査システム」に関するご意見などご自由にご記入ください。**

|  |
| --- |
|  |

**調査項目は以上です。ご回答ありがとうございました。**

**8月31日（木）までに以下いずれかの方法にてご回答内容をお送りください。**

**・「メセナ活動実態調査システム」にて送信【推奨】**

**・メール（chosa@research.mecenat.or.jp）**

**・ファックス（03-5439-4521）**

**・同封の返信用封筒にて返送**

|  |
| --- |
| 【本調査に関するお問合せ／「メセナ」についてのご質問・ご相談はこちら】  公益社団法人企業メセナ協議会　調査研究事業担当  〒108-0014　東京都港区芝5-3-2 ＋SHIFT MITA 8階  TEL：03-5439-4520／FAX：03-5439-4521／[実態調査] E-mail：chosa@research.mecenat.or.jp  [受付時間：平日9:30～17:30　※8/10(木)～17(木) 夏季休業] |